



鶴南特別支援学校の安全対策

最近、他県で様々な事故が起っており、本校としても子どもたちの命を守るため、改めて日頃行っていることの確認や共通理解を行っています。今回は、本校で、教職員がどのような安全対策を行っているか、その一部をご紹介します。

学習中の校外への飛び出しを未然に防ぐ対策

授業中は教職員が、児童生徒から目を離さないようにしています。もし、子どもが一人で見かけたときには、他学部であっても連絡を取り合い、安全を守るようにしています。それでも子どもが一人になった場合のもしもに備えて、児童生徒玄関や棟外へつながる扉は、常に閉めるように全職員で共通理解し、外へ出る際のストッパーになるようにしています。最終のストッパーは、門扉です。ここも、登下校時の職員が見ている時間帯以外は、常に閉じるようにしています。これは、同時に不審者侵入対策にもなっています。



児童生徒玄関



棟外へつながる扉



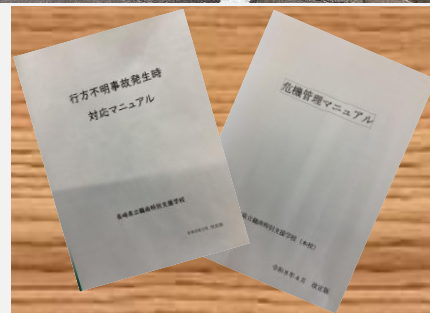
渡り廊下のバー



門扉

子どもたちの命を守る二つのマニュアル

校内や校外での学習時に、もしも子どもがいなくなった場合は、スピーディーさが重要だと思っています。そのため、慌てず、しかし、効率よく搜索や関係機関と連携ができるよう、「行方不明事故発生時対応マニュアル」を作っています。また、火事や地震などの災害時や不審者侵入時などに子どもたちを安全に避難誘導できるよう、「危機管理マニュアル」を作っています。これは、全職員が持っており、毎年、マニュアルを活用した訓練を全職員で行い、振り返りで出た気づきをマニュアル改訂に反映させ、より、子どもたちの命を守ることができるよう取り組んでいます。



本番さながらの訓練と振り返り

毎年、年度初めに行っている搜索訓練の様子についてご紹介します。

搜索訓練は、午前中いっぱい使って行います。教師が不明生徒役となり、搜索範囲を班ごとに振り分けて近隣地域を搜索します。振り返りでは、生徒役からの気づきや搜索方法、本部への連絡のタイミングなど気づきを出し合いました。

和8年度 搜索訓練

9:00~9:30	マニュアル、訓練の説明 各搜索グループでの打ち合わせ (各クラスに移動・待機)
9:45~9:50	初期搜索(5分) (担任、授業者)
9:50~9:55	第1次搜索(5分) (搜索担当者)
9:55~10:35	本部(高職員室)集合 第2次搜索(40分) (搜索担当者)
11:00~11:25	搜索の振り返り、共有(10分)
11:25~11:30	学校長講評



東区 総合地区A	総合地区B	総合地区C	総合地区D	総合地区E
10:25 X	10:30 X	10:00 X 東区公園 X	10:20 X	10:21 X
				10:28 X

